



平成26年事業報告

◎国内事業

- ・東日本大震災支援継続
- ・広島水害見舞
- ・福祉事業
- ・青少年育成事業
- ・活動に必要な支援金確保
- ・「ボランティア便り」の発行・配布

◎ネパール事業

◎インド事業

- ・孤児院エル・エンジェルチャイルドホーム運営継続
- ・タミルナードゥ州ハンセン病患者への飲料水確保 (井戸掘り) 視察の結果、事業見送り

皆様のご協力のお陰で上記の事業を計画通り行うことが出来ました。心より感謝申し上げます。3月を年度末にしておりますので、収支報告は次号にて報告させていただきます。

☆ 年度末にあたり

当会は3月を年度末としており、本年度は、左記の事業を行うことが出来ました。ボランティア団体として発足してから二十一年がたちました。この間、いずれの事業に当たるときも、たくさんの方々のご支援をいただき、災害支援やネパール・インドそして国内の子どもたちの支援を行うことができました。心から御礼申し上げます。

今年度は、日本の子ども達が健全に育つことを願い青少年育成事業にも参画いたしました。

ネパールの学校運営も現地の方で自立できるようになってきました。インドの孤児たちも、皆様のご支援のもと進学する子、就職する子とがんばってくれています。

年4回発行のボランティア便りをもってそれぞれお知らせいたしておりますがみな様へお伝えすることの難しさを毎回痛感しながらの便りとなります。今後ともご理解・支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今日善い行いをして、次の日には忘れられるでしょう。それでも善い行いを続けなさい。

マザー・テレサ

☆ 東日本大震災避難者支援

○ 指編みスカーフの指導

東日本大震災後、石巻市の住吉中学校やめぐろ荘(民宿)に避難していた方々に、心のサポート事業としてマフラー編みやスイーツデコなど手作り品の作成を指導してきました。作っている間は悪いことを考えず作る楽しみと出来る喜びを感じると言ってもらえるからです。

このたびこういった活動を知った町田市社会福祉協議会(以下、社協)からの依頼で、東京都の東日本大震災避難者への孤立支援事業で、町田市に避難している方々を対象に、指編みスカーフの指導にあたらさせていただきました。

準備に毛糸で指あみマフラーを練習しましたが、出来映えがあまりきれいとはいえず、急遽、特殊な糸を使い華やかな感じに仕上がる指あみスカーフをメインに指導することにしました。

開催日は12月10日水曜日、少し早いけどクリスマスプレゼントで喜んでいただきたいとベルギー製のチョコレートボックスや、指あみの毛糸は当日用と自宅用を、持ち帰り用のバックも当協会を用意しました。紅茶やはちみつ、手作りのストラップなどでくじも用意

しました。

当日は、被災者21名、他10名の参加で、当協会から理事長他7名で指導しました。

くじをひいていただき、順にお好きな持ち帰り用のバックやお好きな毛糸を選んでいただいて、くじの景品を渡しました。6テーブルに分れていただき指導を始めました。出来るようにも喜んでくださり、首に巻き写真をとられたり「あの糸、素敵ね」「これも素敵」と、持ち帰り用の毛糸を交換されたりしていました。終了後、チョコレートボックスをお渡しすると「わあ、すごい！これもいただけるの？」と、とても喜んでいただきました。



ちょっと難しいけど楽しい

後日『先日は、被災者の方々のサロンにご協力いただきましてありがとうございます。お茶も差し上げず申し訳なく思っています。ご協力いただきまして、本当にありがとうございます。先日のサロンでは石巻から避難されている自主避難の方が久しぶりに参加されていたのですが、金銭的に余裕がないとおっしゃり、交通費や衣類などの問題でサロンに参加しづらいという方がいました。お家でクリスマスリースを作ったりして、お過ごしされています。お帰りの際、笑顔で楽しかったとお帰りいただきました。すごく楽しめた企画だったようです。』と、社協からメールをいただきました。

まもなく震災から4年目を迎えるうとしていますが、被災された方々の生活はまだまだ不安が多く、ほんの短い時間でしたが、皆様のお役にたてる事が出来たことを感謝致します。



久しぶりの手芸楽しんでます

☆ 青少年育成事業

少子高齢化が顕著となる人口構造の状況のもと、次世代を担う自立した青少年育成の重要性が高まっています。当協会といたしましても青少年育成に協賛して参りたく思っています。

海老名市では市民協働部、市体育協会、えびな少年少女スポーツクラブなどが連携して、青少年の自主性、協調性、社会性を養って文武両道を兼ね備えた人材を育成するために、青少年スポーツ競技大会を毎年行なっています。

○ ミニバスケット大会を支援

昨年十二月に海老名市ミニバスケットボール連盟主管、ミニバスケットボール協会主催で、エル・エンジェル ボランティア協会が協賛してミニバスケットボール競技大会を実施しました。

総合体育館にてエリア選抜された市内小中学生男女チームが日ごろの練習成果を存分に発揮して白熱した競技を展開しました。プラクティス・パンツを着用した選手が、体育館のコートを所狭しと動き回っていました。小柄な選手が相手チームの守備陣の合間をぬって、走り抜け、見事フリースローシュートをきめ、大いに会場を沸かせました。終了後、表彰式が開催されました。主催者の挨拶のあと、協会より男女

別々に優勝チームに優勝旗を手渡しました。また出席した協会メンバーが選手全員の首にメダルをかけて榮譽を称えました。



優勝おめでとう



シュート 決まる！

○ 剣道大会を支援

2月11日海老名市に於いて剣道大会が催されました。

会場では県央から集まった可愛らしい小学1年生から凛々しい6年生までの434名(女子129名)が寒さの中、素足でしっかりと入場行進しこれからの試合に望む心構えが姿勢に顔に表れていました。

開会式では子ども達は正座で来賓のあいさつを受け、のち元氣一杯の礼儀正しい感動の選手宣誓で始まりました。

「剣道は礼に始まり礼に終わる日本の武道」の素晴らしさを学ぶ子ども達に心身に頼もしさを感じました。当協会より海老名市のマスコット(えびくにあ)の飾りの付いたシャープペンシルを参加者全員に渡し喜んでもらいました。



選手宣誓

思いを寄せて

神戸淡路大震災から20年

東日本大震災から4年

被災した人達に心寄せたい、

そのつき動かされる思いで多く

の人が被災地に立ちました。

小さなひとつ、大きなひとつ、そ

れぞれに頑張りました。

又被災地に立つことが出来なく

ても多くの人が心寄せた。

日本中から世界中から多くの真

心が寄せられた。

そして今なお頑張っている人達

が大勢いる。

忘れない！祈り！常に心を持ち

続けたい。

先日、都の避難者孤立支援事業に

協力させていただきました。

指編みが始まると「エー難しい

ね」と言いながら何度もほぐして

やり直しをする方や、一度でサツ

サと編み上げる方やワイワイガ

ヤガヤと屈託のない笑顔の中で、

編み物って無心になれていいね

といつも思います。

ひとりひとり事情が違い、問題も

違うと思います。

復興というにはほど遠い現実の

中で、それでも大勢の人が心寄せ

ていることを忘れないで下さい。

☆ 孤児院便り

戸籍証明の難しさ

子ども達の頑張りに応えたく、

日本への招聘を計画しました。が

インドから日本に来るにはビザが

必要で、ビザ取得には戸籍証明が

必要です。

孤児院に戸籍が無いことは当然な

ことといえますがそれでも当施設

にいる子ども達は生まれてすぐと

いう子がいなく入所時5歳以上の

子どもが入所してきているので、

子ども達の記憶をもとにあるいは

預けて行かれ世話された方をつ手

になんとか出生の証明が取れない

ものかと現地駐在員に頑張るよう

依頼して来ました。

3か月程たっても「とてもむずか

しいです！」との報告でしたが、

その後2か月して「何人かの子は

どうにか出生地が解りましたので

その地の村長に戸籍証明を出して

もらえるよう、今頼んでいます」

との知らせを受け喜びました。

ビザ取得の難しさ

しかし、その後「テロの問題も

あり、親の死亡証明もいるといわ

れ、戸籍は取れてもビザ取得は無

理でしょう。僕ももう手の尽くし

ようが無いです。」と憔悴した様子

で報告してきました。

駐在員はもと中央政府に勤めてい

た人であり、インドの内情に精通

しており、またその関係の友人も

インド全土に多く、これまで幾多
のアドバイスを受けてきました。
そんな彼をしても大変困難なこと
なのでしょう。

東北大震災の時、テレビで日本

の震災の惨状を知った子ども達は

何日も自分のおやつを止めお金を

貯め義援金として送ってきました、

その時の子ども達がとった行動、

思いの尊さを思うと日本へ連れて

来たい！願いが叶うよう祈ります。

この計画を決めた時から、予定は

5月の中頃として何処に連れてい

こうか、お土産は何を買おうか等、

子ども達を世話することを夢見、

意見が交わされてきました。

“子ども達が日本に来られますよ

うに” あきらめない祈りが続いて

います。

◇ 追伸

ここに来て一人、

ビザが取れそうですと

報告が入って来ました。



○ 編集後記

春の日差しが嬉しい季節になりま
した。

青少年の競技大会で元気で礼儀正し

い子ども達を見、すがすがしい気持ち

になりました。未来の子ども達のこれ

からが楽しみです。

(S・I)

○ “共に助け合いたい”それが私たちの願いです。ご協力、よろしく願いいたします。

○ 支援金振込先 郵便口座 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル
記号 10290 口座番号 68107191
ゆうちょ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル
店名 (028) 店番 (028) 普通預金 口座番号 6810719
三菱東京UFJ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル国際ボランティア協会
海老名支店(409) 普通預金 口座番号 0966597